

平成27年度第2回草加市みんなでまちづくり会議

議 事 録

1 開催日時

平成27年7月23日（木）午後7時から午後9時10分

2 開催場所

草加市立中央公民館 第1・2講座室

3 出席者の氏名

(1) 登 録 員 16名

(2) 事 務 局 みんなでまちづくり課：山岡課長、藤倉課長補佐(兼)市民活動センター所長

巖上主任、木村主事、吉田主事

市民活動センター：亀山主査、細野主事

4 会議の議題

「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の内容

別紙議事録のとおり

8 議事録署名人

小堺明美登録員、浜野幸一登録員

平成27年度第2回草加市みんなでまちづくり会議 議 事 録

【実施日時】 平成27年7月23日（木）午後7時～午後9時10分

【実施場所】 草加市立中央公民館 第1・2講座室

【出席者】 まちづくり登録員：16名、傍聴者：0名

事務局：みんなでまちづくり課（山岡課長、藤倉課長補佐（兼）市民活動センター所長

巖上主任、木村主事、吉田主事）

市民活動センター（亀山主査、細野主事）

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」

3. 閉 会

【議事内容】

-開会-	
【事務局】 (藤倉課長補佐)	本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたので、平成27年度第2回草加市みんなでまちづくり会議を開催します。本日司会を務めさせていただきます、みんなでまちづくり課 課長補佐の藤倉です。よろしくお願いします。 初めに、事務局のみんなでまちづくり課 課長、山岡よりご挨拶申し上げます。
【事務局】 (山岡課長)	皆さんこんばんは。みんなでまちづくり課長の山岡です。本日は、会議開催のお知らせをさせていただきましたところ、ご多用の中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また、日頃からの皆様の活動に対しまして敬意を表する次第であります。 今回は、今年度2回目の会議ですが、前回の会議終了直後、まちづくり登録員の青柳様に今回の進行をお願いする事になりました。テーマにつきましては、前回と同じ「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」について、もう少し話し合ってみようという事になっております。3つに整理されたみんなでまちづくり会議の機能のうち、「市民同士の話し合いの場」という位置づけでございます。 限られた時間ですが、青柳伊佐雄様の進行にご協力いただきながら、皆様にとって意義のある議論となる事を祈念しております。本日は、よろしくお願い申し上げます。
【事務局】 (藤倉課長補佐)	【配布資料確認】 ①会議次第 ②資料1「本日のテーマと主な意見」 ③資料2「草加市みんなでまちづくり会議応募テーマ一覧（5件）」 ④資料3「みんなでまちづくり会議の運用」 ⑤条文「草加市みんなでまちづくり自治基本条例」 ⑥草加市みんなでまちづくり自治基本条例リーフレット

議題 【進行】 【事務局】 (藤倉課長補佐)	⑦参考資料「超高齢化する団地の再生」「プロジェクト2030」 ⑧市民活動相談のチラシ 【会議録の署名について】 次に、会議開催に当たり議事録を作成しますので、議事録の署名人を2名決定します。本日は、小堺明美様、浜野幸一様をお願いしたいのですが、よろしいでしょうか。小堺様、浜野様、よろしくお願いします。 この後、青柳様の進行で進めてまいりたいと思います。それでは、青柳様、よろしくお願いします。 皆さんこんばんは。私は昨年から登録員になったので、最初の頃の様子はあまりよく知らない部分もあるのですが、以前から関心を持っていたので、少しでも協力させてもらえればという事で、前回の進行役からお話があり、引き受けさせていただきました。よろしくお願いします。 本日、初めてみんなでまちづくり会議に参加されている方もいらっしゃると思いますので、簡単にみんなでまちづくり会議の概要についてご案内いたします。 みんなでまちづくり会議は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例に基づき開催している会議です。この草加市みんなでまちづくり自治基本条例は、草加市の最高規範として誰もが幸せなまちをつくるため、市政の基本となる原則や方針を定めるものとして施行されております。この条例の特徴は、市民の提案権や発言の場などを保障しており、市民が直接まちづくりに参加できるところにあります。今まで、この会議に提出された提案は4件あります。様々な分野の方にいろいろな意見を出していただき、意見交換をした結果、よりよいものにまとまって市に提案してみようという事になれば、皆様のまちづくり計画を市に提案する事も可能です。提案が提出されると、市は市政に反映するかどうかを検討して、その結果を再度みんなでまちづくり会議の場で登録員の皆様に説明する仕組みになっております。 前回の会議では、「地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー」というテーマで意見交換を行いました。シャッター商店街や空き家の増加、高齢者の孤独死など、地域の崩壊が言われております。これらの課題に対して、市民レベルで取り組める身近な問題として、地域コミュニティを再生して、安全・安心なまちを目指すために市民レベルでできる事にはどんな事があるのか、グループごとに話し合ってくださいました。その中で、論点が2つに絞られました。論点①『コミュニティの再生～どのようなコミュニティを、どのように築いていけばいいか～』、論点②『地域資源の活用～空き店舗や公共施設、草加独自の歴史や文化をどのように活かせばみんなに興味を持ってもらえるのか、草加に住んでよかったと思えるまちになるのか?～』という事で、主なものとして資料1の意見が出てまいりました。 本日は、このような意見・論点に関して、さらに深掘りした議論を行いたいと思います。
---	--

【進行】	今年度から、市民同士の話し合いの中でよりよい提案になるように練り上げていければという事で、登録員の皆さんから出していただいたテーマを取り上げています。第1回会議では「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」について話し合いを行い、会議で出てきた意見の概要を事務局からご説明いただきました。前回の会議では、このテーマについてもう少し深く掘り下げる必要があるという事で終わったので、今回は更に深掘りしていく話し合いがグループ討議の中でできればと思っております。これから、グループごとに論点①「コミュニティの再生」について意見交換を行い、グループで話した内容を全体で共有します。続いて、論点②も同じようにやっていきます。その後、テーマ出題者から皆さんの意見を聞いた感想等についてお話をいただきながら共有を深めていきます。それから、更に全体で意見交換を行ってまとめに向かいたいと思います。 各テーブルにある模造紙と付箋紙を利用して、発表の素材にさせていただきたいと思います。グループごとに役割を決めてから、論点①について、前回の意見を参考にして意見交換をお願いします。 【グループ毎の話し合い】
【進行】	グループごとに発表をお願いします。それでは、Bグループをお願いします。
【登録員A】	Bグループでは4つの意見がありました。まず、地域にある施設として、市内にはコミュニティセンターがあります。こういった施設は年配の方の利用がメインですが、例えばイベント等を含めて、もっと若者が利用するような、若者を集めるような、若者と年配の方が触れ合えるような場所をつくれないう事です。 続いて、各地域でお祭りがあると若者がたくさん出て来ます。これは、10代、20代、30代を問わず皆さんが出て来るので、高齢者とのふれあいも増えると思います。 そして、コミュニティが根付くような地域を…と言う事です。テーマの趣旨にある「孤独死」という部分に関しまして、昔はみんなが知り合いという事があったと思うのですが、身近なところに住んでいる方々1人1人が声掛けをして顔見知りになれば、周りの方が何をしているか、どんな生活をしているかも把握できると思います。ある時にその方が亡くなっていたとしても、常日頃触れ合っていれば、孤独に亡くなっている事はないと思います。それを一人死という言葉に置き換えるという話があったそうで、隣人とのふれあいや地域のふれあいがあれば、一人死という言葉が根付くような地域、孤独死というネガティブな言葉もなくなると思います。 最後になりますが、災害があった時にどうやって助けられるかについても、これから話していきたいと思っています。
【進行】	ありがとうございました。それでは、Aグループをお願いします。
【登録員B】	世代を超えた交流の場である町会・自治会から議論を始めました。細かい部分まで話が進まなかったのですが、町会・自治会はどうだろうという話になりました。あまり分けるのはよくないと思いますが、昔から住んでいる旧住民とマンションの新築などにより引つ

	越してきた新住民が分かれてしまっていたり、情報の共有ができていないという事があります。どうしたらコミュニティとして地域でつながる事ができるのかを考えていく中で、地域には祭りがあり、祭りには旧住民も新住民も参加します。また、子どものつながりとしてPTAがありますが、母親だけのコミュニティで一過性になってしまう可能性があり、全体的なつながりになるには難しいという意見がでました。また、Bグループと同じように、高齢者の独居世帯のつながりについての話があり、民生委員だけでは難しい事と個人情報の問題が出ました。安全・安心を目指してどのようにつながっていけるかを考えた時に、ゆるいつながりをどのように構築するといいいのか、縦と横のつながりをどうやって築いていくといいいのかについて考えているところで話が終わってしまいました。平成塾の活用などについても話が出ましたが、あまり認知されてないのではないか、ここがゆるく活動しているのではないかという話がありました。
【進行】	ありがとうございます。それでは、Cグループお願いします。
【登録員C】	とても具体的な話がいろいろ出てきておもしろかったのですが、まとめるのは大変でした。 高齢者の居場所のように、楽しくいろいろできてつながれる場所が欲しいです。市内のここにある、道を歩いていたらあったという話も出たのですが、どうやって情報発信をしたらいいか。情報発信の方法をもっと考えるといいいのではないか。他には町会・自治会の問題が出たのですが、町会・自治会がない地域もあります。私は、団地等の若い人が多い地域だと思っていたのですが、具体的に話が出たのは、高齢者の方が抜けていくという事です。自治会の当番ができない、会費を集める事が負担であるというような声があります。町会・自治会の加入率が低い事は、単純な問題ではないという話がありました。他には、都内に通勤していた人たちは、地域の事をあまり知らないのではないかという意見がありました。あちこちでいろんな人がいろんな活動をしていますよという話をした時に、そこに来たがらない人をどうするかという問題もあります。また、情報発信を中核的にサポートする場所やシステム等があった方がいいのではないかという意見がありました。コミュニティセンターはそういった場所だと認識していましたが、どうやら施設を借りて、自主的なサークルを作って活動している場所なので、そうすると公民館も違うし、やはりコミュニティづくりをサポートしていく場所が必要だと思います。全部行政に任せるのがいいという話が出た訳ではないのですが、そのような話が出ました。
【進行】	ありがとうございます。補足したい事があればお願いします。
【登録員D】	先程、Bグループから一人死について話がありましたが、一人死の前に、助けられるものなら助けたいという事があります。でも、もし災害があった場合に、草加市はかなり高層化しています。平屋だったら消防車や救急車が入れますが、高層で閉じ込められたらどうしたらいいでしょうか。普段、エレベーターを使って車いすで移動している人は、電源が切れてエレベーターが動かなくなった時に、階段で昇降するには4人位いないと介助できないと思います。そのような問題がある事の提起です。

【進行】	ありがとうございます。それでは、Aグループで何かありますか。
【登録員B】	ゆるいつながりをどのように作っていくかという事で、魅力あるイベントで人がゆるく集まれるものがあっていいという意見がありました。
【進行】	それぞれのグループに対する質問があればお願いします。コミュニティは形があって目に見えるものではなく、コミュニティセンター等の建物をつくったからといってすぐにコミュニティができるものではないので、この問題をまとめて方向づけをしていく事は難しい課題だと思います。 では、論点②「地域資源の活用」の議論に入りたいと思います。 【グループ毎の話し合い】
【進行】	発表に移りたいと思います。Cグループからお願いします。
【登録員C】	たくさん話が出てとても楽しかったです。最初に、皆さんはどのくらい草加に住んでいるかという事から始まり、お仕事をされていて草加から通っていたから、あまり草加の事をよく知らないという話も出ました。草加についてどう思うかについて最初に出たのは、道路が整備されておらず不便だという話でした。それから、様々な要望としては、子どもたちだけではなく、高齢者も一緒に楽しく遊べるような公園があったらいい。他の地域のいい公園を参考にするといいのではないかな。そして、子ども達がとにかく楽しく遊べる施設についてです。児童館がそれぞれに頑張っていると思いますが、西新井のギャラクシティや越谷の児童館はもっと規模が大きくて、児童館の中で子どもが体全体を使って遊べるような施設です。そういった施設があったらいいと思いました。一番欲しいのは、コミュニティマップです。こういう施設があるよと聞いても、特に年配になると、とても不便だと出掛けにくいです。また、水辺を整備して欲しいという意見がありました。綾瀬川に舟が浮かぶという話も出ていますが、それと一緒にだと思います。子どもたちも水辺で遊べたらいいと思います。
【進行】	ありがとうございます。それでは、Bグループお願いします。
【登録員A】	草加の歴史や文化をどのように活かせばいいかという事で、草加独自の文化に限定せず、伝統芸能等のいろんなものを活用し、草加独自ではなくても皆さんが持っているものを伝えていく事が、ゆくゆくは草加市の歴史や文化を伝えていく事につながるのではないのでしょうか。次に、学校の活用です。学校の空き教室や体育館の活用という事で、今でも生涯学習の場として平成塾や大学の公開講座がありますが、そういったものをもっと増やしていければいいと思います。そうする事により、人々が集まって、人と人とが触れ合う場につながると思います。 また、草加市にはいろんな団体がいろんな活動をしております。そういった情報を集める場の一つとしてコミュニティセンターがあると思います。どこか一つに集約できれば、市民の方も情報を集めやすいと思います。もちろん、市民の関心がなければ人と人とが

	ながる事はできません。自分が体験しているイベントや活動に関して地域の方に声掛けをして、その活動に参加していただき、自分たちの居場所やそういった方の居場所をつくる事によりネットワークを築く事ができるのではないかと考えています。そういったイベントや公開講座、活動に参加したくないとか、参加できないという方もいると思うので、そういう方に対して気軽におしゃべりできる場やリラックスして肩肘張らずに居られる場を提供する事により、悩みや相談事を話せる場を設ける事ができるのではないかと思います。自分はここにいるのだという居場所を設ける事が必要ではないかと思っています。
【進行】	ありがとうございます。それでは、Aグループをお願いします。
【登録員B】	Aグループは少し意見が分かれまして、草加に住んでよかった事が本当にあるのかという意見が出ました。地域では既にいろんな活動をしている人がいるので、最低限のつながりがあればそれでいいのではないかと。それに対して、やはりまちづくりは大切なので、皆さんが笑顔になっていられるようなまちづくりを推進していくといいという意見がでました。ふるさとを知る事は自分たちの思い出をつくる事でもあるので、コミュニティをつくる事は地元を愛する事です。10月には草加宿場まつりがあります。また、東京オリンピックに向けて聖火リレーを通したらどうかという話も出ています。Aグループでは、どうしたら地域を愛せるかという話になりました。
【進行】	補足があればお願いします。
【登録員E】	先日、私の家族が「草加松原夢まつり」というイベントに行って、松尾芭蕉や草加の名勝等を問題にしたダイナミックな謎解きゲームに参加したのですが、とても賑わっており、おもしろかったと言っていました。あんなふうに地域の事を一生懸命なぞなぞに作って企画してくれた人がいる事がいいです。中学生くらいの子供もたちはものすごく喜んでやっていました。草加の歴史や地域の事が分かってよかったという事でしたので、この会議でお話しさせていただきました。
【進行】	ありがとうございました。Aグループはいかがですか。
【登録員F】	テーマが広すぎるせいかわかりませんが、私の性格からして、時間をかけて議論したらそれなりの成果がでないと納得できません。前回も同じような議論をして、今回も同じような議論をしました。それで、どんな成果がでましたか。今、皆さんの発表を聞いていると、そんなに変わらないのではないかと。なぜですか。何か、もともと少し正しい所にいつてないのではないかと。このまま3回目の議論をしても、また同じような結果ではないかと。私は性格が短気なので、時間をかけて議論したらそれなりの成果がでないと自分なりに納得いかない性格ですから一言申し上げます。
【進行】	ありがとうございます。大切なご指摘だと思います。それでは、テーマ出題者から皆さんの意見を聞いた感想等についてお話をいただきたいと思います。

【テーマ出題者】	貴重なご意見、ありがとうございます。最後の方からすごくいい意見をいただきました。小さいようでかなり大きいテーマですが、大プロジェクトをつくる事は考えてなくて、皆さんが集まれる場所を1つでもいいからつくる事ができればそれでいいと思います。だから、結論をどこで出すのかという事は、これから皆さんの意見を聞いてフィードバックさせていただければと思います。私の感想としては、特に論点①の皆さんの意見が随分身近に感じまして、特に高齢者の孤独死等、いろんな事件が頻繁に起きているので、他人事ではないと思っています。私が住んでいる団地は築30数年経ってしまっていて、30代・40代で入居した住民は70代後半から80代になっています。自治会活動を担ってきた人たちが亡くなったり引退したりしており、代替わりになって私のような団塊世代が跡を継いでいる状況です。なかなかコミュニティもできないのですが、先週、ビール祭りという飲み会をやりました。おじいちゃんやおばあちゃんを頼りに孫たちや近所の人たちも来て、結構にぎやかでした。自治会ですから、近所のマンションの方や町会の方たちにも来てもらっていろんな話がありましたが、担い手がいないという意見が一番出ていました。私のマンションは2年輪番制で役員をやっていますので、若い人も当番になれば出て来ます。結局、お祭りが一つのきっかけになって人が集まっているという事もありますので、数少ないのですが、イベントとしてはいいのかなと思います。なるべく身近な所で来やすいような雰囲気でお金もかからない、そういった場所をつくる事が大事だと皆さんの話を聞いていて感じました。居場所づくりをするにはどうしたらいいかという事になると、やはり場所がありません。場所をどうするかという事になると、結局サポートする体制ができていません。皆さんから、市内に何か所がある平成塾について話をお聞きしましたが、なかなか知っている人も少ないようです。もっとPRしていけば少しは市民に広まっていくと思います。市では、そういったPRにももう少し力を入れて欲しいです。NPOの講座に参加した方にフィードバックしてPRしてもらえれば、コミュニティの普及につながるのではないのでしょうか。
【進行】	ありがとうございます。それぞれのグループの発表を基にして、テーマ出題者から感想をまとめて報告していただきました。これからは、論点①と論点②について、どのような事を目指していけるのか。全体での話し合いの時間をとりたいと思います。その後は今後の方向性を話し合いたいと思います。それでは、2つの論点を通して感じた事や、こうした方がいいのではという意見をお願いします。
【登録員G】	私は、まちづくりというのは大事な事だと思っており、まちづくりをする事によってコミュニティづくりを進めています。まちづくりは人づくり、人づくりは心づくり、心づくりはコミュニティづくりというようにつながっていくと思っています。私は『草加ミュージックフェスティバル』という音楽祭を年に1回、草加市文化会館のホールで10年程やっております。今年のコンセプトは『みんなで育てよう 草加サウンド!』という事で、どこからともなく聞こえてくるせんべいをかじる音やミシンの音等、いろんな音がこのまちの中にあります。音楽もちろん大事ですが、おせんべいをかじる音やミシンの音など、そういった草加市内にあふれるいろんな音をみんなで聞いていくうちに、この草加がよいまちだと感じられればいいと思っています。それをミュージックではなくて【草加サウンド】と名付けてまちづくりをしていこうと思っています。これから先、時間をかけてやってい

	こうと思っております。つまり、まちづくりは時間がかかるものだと思います。先程、（登録員F）が成果がでないとおっしゃっていましたが、私もまさにそう思います。早く成果を出したいと思うのですが、成果がでないからと言ってやめてしまうと何もできない気がするし、じれったいところもありますが、自分のやり方で、自分の周りの人たちとのコミュニティづくりやまちづくりを進めていく事は、無駄ではないと思っています。今日、まちづくり登録員の皆さんが集まって意見交換を行っても、はっきりとした成果が出て来ないかもしれませんが、意見交換をする事がコミュニティづくりに必ず役立つと思っているので、時間をかけながら、このテーマは今日で終わって、次の会議は別のテーマに移るかもしれませんが、ぜひ、皆さんと一緒にコミュニティづくりを諦めずにやっていく事が大事ではないかという事で意見とさせていただきます。
【登録員F】	今の意見に反対する訳ではありません。大賛成です。まちづくりは人づくり、これはとてもいい事です。私も大賛成です。一生懸命まちづくりを、今後も10年、20年ずっと頑張ってください。これは非常にいい事です。同時に、こういうまちづくりをしたいという人が必ずいると思います。100人いれば100通り。皆さんそれを頑張ってください。市役所も応援してください。私は、その次どうするかという事をここで議論したい。安心して暮らせる草加。そういう体制をつくらずに、お祭りやまちづくりばかりやっていていいのですか。有事の時にはどうするかをここで皆さんと一緒に議論して、少しでも安心したいのです。そう思って参加しています。まちづくりは皆さんどんどんやってください。シャッター商店街が嫌だったら自分でお店を借りて、素晴らしい商品をどんどん売ってください。1つだけではなく2つでも3つでも商売をやってどんどん活性化してください。まちづくりはその人たちに任せればいい事で、ここで議論するのはそういった事ではないという事を言いたかったのです。
【進行】	ありがとうございます。もう少し具体的におっしゃっていただきたいと思います。
【登録員F】	平時の時はお祭りをやってまちづくりをやってまちを活性化する事でいいと思います。それぞれいろんな意見があるので、それぞれやってください。ですが、何かあった時にお祭りやまちづくりをやっていて、安心できるのですか。この議論に安心する部分が抜けていると思います。
【登録員H】	何かと言うのはどういう事ですか。
【登録員F】	何かって、富士山噴火とか、箱根山でやっているじゃないですか。箱根町は大変ですよ。草加まで火山灰が飛んで来ないと思っているのかもしれませんが、爆発の威力によっては分かりません。草加は浅間山の噴火で灰が降りますから。
【進行】	私もあまり知識はないのですが、例えば災害の事については、市では特に地震に対する防災計画をもう一度整理しなおしていると聞いています。市民側もどのように取り組むのかという事について、市民の自主的な防災組織をもっと機能できるように整理していると聞いています。でも、それだけで十分かどうかについては、このような場での議論になる

【登録員 I】	と思います。今の発言に対する質問でも結構ですが、他にご意見はありますか。 テーマの趣旨がすごく気に入りました。安全・安心なまちを目指すために市民レベルでできる事をみんなで考えて進めていこうという、そういった視点での呼びかけがすごくうれしかったです。だから、他に予定がありましたが、一緒に参加したいと思って来ました。私自身は微力なので、退職してから自分には何ができるのか、まちの中にどうやって溶け込むのが私のテーマでした。それで、自転車で5分くらいの場所に住む人が13人も集まって、お神樂がやれるようになったのです。それを新田西文化センターの方たちが応援してくれて、伝統芸能発表会をやってくれるようになり、そこに近所の人が150人位観に来てくれました。私はそれがすごくうれしかったです。地域の方が来てくれて、時には涙を流して、時には何だという顔をしたりもするのですが、人と人との関係は一步一步で一気にはいきません。このまちに住んでよかった、あの人と知り合いになれてよかった、まちを歩いていると何かあたたかい気持ちでいられたら、こんなにいい事はないとも思っています。それぞれみんな暮らしぶりも違うし、悩みも違うし、いろんな事を抱えていて、あの人もこの人もなかなかうまくいかないと思いながらも、なぜか気持ちは通じていられたらすごくいいと思います。そのためには、やはりいろいろ知恵を出さなければいけないと思います。先程、草加サウンドの話があり、いい事をやっているなど思いながら聞きましたが、皆さんそれぞれ何かできる事で一步一步つないでいけたらいいという気がしました。
【登録員 J】	(登録員 F) がおっしゃる事はよく分かります。この、みんなでまちづくり会議は、(登録員 I) が先程非常に感激したと言われた趣旨のように、安心・安全なまちを目指すために市民レベルでできる事は何か、これが提案できる場なのです。(登録員 F) が言いたいのは、提案につながる道筋になってないのではというご指摘だろうと思います。みんなでまちづくり会議は新しい体制になってからまだ2回目ですから、そこまで進めずに市民同士の話し合いの部分を足踏みしているのだと思います。(登録員 F) が言いたいのは、市民同士の話し合いから市民同士の連携や提案といった方向に進めず、自由に話し合いをただで終わってしまうのではこの会議の目的から外れてしまうのではないかという事だと思います。この会議で皆さんが話し合った結果が提案への道筋に向かっていく事ができれば、(登録員 F) からの質問もないのではと思います。それでは、そういった道筋に進んでいくにはこの会議をどうしていけばいいのか、もっといろいろな角度から考えていった方がいいのではないかと思います。
【進行】	ありがとうございます。この会議の今後の事については、最後に時間をとりたいと思っています。その他、今日話し合った事について、どんな事でも結構ですので意見はありますか。
【登録員 C】	先程、非常の際はどうかという話があったのですが、私の地域では町会が防災講座を開催し、市の担当が丁寧に話してくださって勉強になりました。それから、先日は子育て中の小さい子をもつ方の防災講座を市が開催しました。全部は知りませんが、話を聞いていると、ああいう事があった、こういう事があったと聞きます。例えば、高齢者の居

	場所というのも、あそこでやっている、こちらでやっている、個人でやっている、NGOでやっているという話を聞きます。そういった情報をどこかでまとめて発信する事ができればいいと思います。例えばインターネットをやらない高齢者には年に1度でいいからポストインして欲しいとか、子どもが遊びに行ける公園を地図に整理するとか、そういったプロジェクトが具体的にここでできてもいいし、市と協働でできてもいいし、やはりまとめて出していく事は大事だと思います。
【テーマ出題者】	私が考えていたのはそういった事です。
【進行】	やはり、この会議が議論するだけでいいのかというと、私もそうは思っておりません。みんなでまちづくり会議自体がある意味大きな試行錯誤をしながらやってきています。みんなでまちづくり自治基本条例が施行されてから10年以上が経ちますが、みんなでまちづくり会議は3年近く開かれない時期がありました。その前に4つの提案があり、その特徴としては何かの構造物をつくるとか、市に対して何かの施策をやったらどうかというような提案であり、ものをつくる提案はうまくいったと思っていますが、政策に対する提案についてはいろんな価値観の問題もありうまく進みませんでした。市では、その事に対する反省をしながら、今年度はみんなでまちづくり会議の新しい運用に基づき進めている所だと思います。その視点の中で、会議で話し合うテーマを募集したところ、登録員から5つのテーマの応募があり、最初にテーマ④から討議を始めました。1回の会議だけではなかなかまとまらなかったのも、本日も同じテーマについて意見交換を行いました。今後の事について、登録員の皆さんからこうしたらいいのではというご意見があれば伺いたいと思います。
【登録員F】	テーマをもう少ししぼった方がいいと思います。
【登録員K】	私はこの会議に何度も出ているわけではないのですが、いつも同じ話が出ているので、1つ1つを整理していかないとまとまりがつかないと思います。同じような意見をまとめていき、どうしたいのかという線を出さないと、ただ話し合っただけという形がずっと続くと思います。グループが3つありますが、コミュニティの何々についてどうしたいのかという1つの方向性を出して初めて、皆さんが同じ方向を向けると思います。今はいろんな方向を向いているので、まとめていけたらいいと思います。
【登録員J】	テーマをしぼるといいと言われましたが、テーマをしぼるというのは、例えば、登録員から募集した5つのテーマについてではなくて、今回話し合ったテーマの中でという話ですよ。
【登録員F】	そうです。私は何も、市民同士の話し合いから強引に市民自治の実現などを目指しているわけでは決してないです。私は3つの機能で議論をして、成果がでなくても平和だなと思っています。無理矢理市民自治の実現などをやる必要は全然ないです。
【進行】	全員から意見をお聞きする事はできなかったのですが、出てきた意見はかなり共通して

	いると思います。みんなでまちづくり自治基本条例では、市民ができる事はまずは市民が話し合いの中でやっていき、市民だけではできないけれど市と協働でやればできる事ならば、市民ができる事については提案制度により積極的に提案していきます。市民と市が協力し合い、共に手を組みながらやっていく事によって、より成果が上がって実現できるものもあります。みんなでまちづくり自治基本条例は、市に提案する事によって、市と市民によるパートナーシップのまちづくりが自然にできるまちを目指していると思います。今年度の会議では、市民同士の話し合いのベースを作っていきたいと思います。 今後についての1つの提案ですが、2回の会議で話し合った事をまとめたような形にして、それを市に示していくのはいかがでしょうか。例えば、平成塾というような具体的な話が出ましたが、そういった事がもっと活発になればいいと私も思っています。私も知らないところがあるし、皆さんも知らないところがあります。まとめの中から、市はこういう事をやっているといったPRをしていただいても構わないので、市としてはこんな事をやっていきたいので、この部分に市民の力を借りたいというような回答をもらっていったらいかがでしょうか。まとめをつくって市に示し、答えがもらえればもらっていくという思いで、この2回の議論についてまとめをつくって整理をしていきたいと思っています。次回の会議については、せっかく登録員の皆さんからテーマをいただいているので、地域コミュニティの再生については今回で一区切りにして、次のテーマに移りたいと思います。長くても2回程度で新しいテーマに移った方がいいと思います。まとめをつくるに当たっては、テーマを出題された島根登録員、前回の進行役を務めていただいた長谷部登録員、それから私も入りますが、他に皆さんの中でまとめづくりに積極的に関わっていただける方はいらっしゃいますか。その方達で日程を調整し、市のアドバイスを受けながら打ち合わせを行って、今までの議論を基にしたまとめをつくってはいかがでしょうか。次回の会議では、次のテーマについて出題者から説明をいただく中で取り上げるといいと思います。
【テーマ出題者】	先程、進行役から説明があったように、テーマ②とテーマ③については今回のテーマ④と重なっているの、次回はテーマ②かテーマ③の議論に移ってもいいと思います。もちろん皆さんの意見を聞いてからの話です。
【登録員Ⅰ】	初めてこの会議に参加したので今までの経過が分からないのですが、今日のこの話だけで、もう2回目だからまとめていくというのは、あまりにも不十分だと思います。どのようなまとめになるのかという気がします。でも、皆さんがそれでいいと言うならいいのですが、これでこの会議の意見をまとめるのは軽い気がします。
【進行】	言葉が若干足りなかったようですが、まとめをつくってそれでおしまいという事ではありません。今、テーマ出題者からお話があったように、コミュニティというのは非常に大きな問題なので、他のテーマと関わる部分があります。ここまでの議論という事でまとめをつくって市に投げかけます。その回答を踏まえ、更に深めていくべき事があれば深めていくというやり取りができればいいと思います。登録員の皆さんから出していただいた他のテーマについても議論をしていきたいので、そういう意味で1つの区切りをしたいと思っています。これが議論の全てという事ではないと私は思っています。ですから、議論をして具体化していく中で、今回の議論がもう1度出て来る事は十分あると理解していないといけ

	ないと思います。次に取り上げるテーマは、昨年度第4回の会議でテーマ⑤という事に決まっております、その次は決まっています。年間4回の会議なので、長くても2回の会議で区切りを付けた方がいいと思います。
【登録員G】	考え方がいろいろあると思いますが、できれば1回の会議で終わらせたいです。
【登録員C】	コミュニティの問題はこれでおしまいではなくて、常にずっと話をしていた方がいい問題だと思います。私が提案したテーマも、1回や2回の会議で終わりにするような問題ではないと私自身思っています。まとめるというのは、会議の中で出てきた意見を整理して、その意見を今後どうするか検討していただく事だと思います。それによって、市の担当課から説明を聞く等、そういった機会が出てくると思います。
【進行】	今回の会議では、まとめたものについて市の関係課から回答をいただければその報告を行い、テーマ⑤についても議論をしていくという事でよろしいですか。第4回の会議以降については、短い時間ですが知恵を絞って考えていきたいと思っています。以上でよろしければ、事務局にお返ししたいと思います。ご協力、大変ありがとうございました。
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございました。そろそろ時間となりますので、議事を終了します。本日、進行役を務めていただきました青柳様、ありがとうございました。そして、ご出席いただきました登録員の皆様には、たくさんの意見を出していただきありがとうございました。今回の会議は、10月22日に同じ場所（中央公民館第1第2講座室）で開催します。 また、事務局から1点お願いがあります。次回の進行役ですが、次回の会議は今回のまとめの報告もありますので、ぜひ青柳様に引き続き進行役を務めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。 【拍手】
【事務局】 (藤倉課長補佐)	ありがとうございます。それでは、青柳様、次回も引き続きよろしくお願いいたします。これもちまして、平成27年度第2回みんなでまちづくり会議を終了いたします。ありがとうございました。

平成27年度第2回草加市みんなでまちづくり会議

次 第

平成27年7月23日（木）午後7時～

草加市立中央公民館第1・2講座室

1. 開 会

2. 議 事

<議題>

「地域コミュニティの再生－安全・安心して暮らせるまちづくり－」

3. 閉 会

- （みんなでまちづくり会議）・・・草加市みんなでまちづくり自治基本条例より抜粋

第26条 市は、次の事項について市民の参画を実現するため、まちづくり登録員で構成するみんなでまちづくり会議を開催します。

 - (1) 前条のまちづくり計画の提案
 - (2) パートナシップによるまちづくりの政策提言
 - (3) この条例の運用の監視
 - (4) この条例の調査・研究
 - (5) その他この条例に基づくまちづくり
 - 2 市は、前項の内容を公表します。
 - 3 市は、みんなでまちづくり会議において提案され、話し合われた事項について、市政に反映するよう努めます。
 - 4 市は、前項の反映結果について公表し、みんなでまちづくり会議で説明をします。
 - 5 みんなでまちづくり会議は、前項の反映結果について納得できない場合は、別に定めるところにより、市議会で意見を述べる機会を求めることができます。
 - 6 市議会は、前項の意思を尊重します。

《テーマ》 地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー

〔趣旨〕シャッター商店街や空き家の増加、高齢者の孤独死など、地域の崩壊が言われている。これらの課題に対して市民レベルで取り組める身近な問題として、キーワードを“安全・安心して暮らせるまちづくり”とし、地域コミュニティを再生して安全・安心なまちを目指すために市民レベルでできることは何か。退職高齢者の増加（団塊世代）とその活躍の場を視野に入れて考える。

論点① コミュニティの再生～どのようなコミュニティを、どのように築いていけばいいか～

《主な意見》

- ・世代を超えた交流の場づくりや町会・自治会の活性化がキーワードになるのではないか。
→バザーなどの小さなイベントの積み重ねが住民同士や若年世代と地域の接点になり得る。
- ・表になかなか出てこない人はどうしたら出てきてくれるのか。
→人と人をつなぐシステムの構築が必要ではないか。様々な人が関わることは生き生きとした市民を増やし、地域コミュニティの再生につながる。
⇒ 個人情報の取り扱いが弊害のひとつ。
- ・人と人をつなぐシステムの構築として、リーダーの養成も必要。
- ・既存コミュニティのひとつとして平成塾などを活用してはどうか。
- ・一人ひとり異なる考えを持っており、様々な人が集まった時に何ができるかを考えるべき。
- ・身近な人と手を取り合い、周りを巻き込みながら、必要に応じて行政の力を借りてまちづくりをしていくことが理想。
→自分たちに何ができるか、どうしたらこのまちが良くなるかを考えて、まずは一人ひとりが行動を起こしていくべきではないか。
- ・コミュニティが必要な人がコミュニティを作っていくことが大切。それが必要で良いものであれば自然と人が集まってくる。
→実際に活動することが重要であり、一生涯自分は何かをやるという気持ちで活動することが大切である。

論点② 地域資源の活用～空き店舗や公共施設、草加独自の歴史や文化をどのように活かせばみんなに興味を持ってもらえるのか、草加に住んでよかったと思えるまちになるのか？～

《主な意見》

- ・シャッター商店街や空き店舗を児童館のような施設として活用できないか。
→子育て世代だけでなく、地域の高齢者も利用できる場所になれば良い。
- ・公共施設の再活用及び町会会館など既存施設を活用できないか。
→施設利用コーディネーターが必要ではないか。
- ・道路幅の整備や市営駐輪場の整備など自転車環境の改善をすべき。
→自転車運転者のマナー向上も課題である。
- ・草加のまちがどのようなまちなのか、歴史や文化をまずは自分たちが知ることが重要。
→観光ボランティアやNPOの活動を知ること一助になるのでは。

⇒ 空き店舗や施設などの場を「居場所」に。

みんなでまちづくり会議の運用

みんなでまちづくり会議 の3つの機能

①市民同士の話し合い

議論のテーマを市民が発意し、市民が他の市民と話し合える場として活用できる機能。

同じテーマで活動する団体との情報交換や協力関係を築く場として活用したり、全く別のテーマで活動する団体からの新たな発想や広い視点での意見交換ができる場として活用します。

普段、なかなか接する機会のない市民同士が集まり、意見交換することで、新たな気づきが生まれます。

市民が
集まる場

情報交換
の場

②市からの発信・情報共有

市民からの提案がなくても、出来るだけ定期的な開催が実現できるよう、市が情報を発信したり、市民の意見を聴く場として活用します。特に、市の重要な計画等を策定する場合は、パブリックコメントとは別に、積極的にまちづくりに取り組む市民の意見を聴くことができる機会として活用します。

市の情報
発信の場

市民意見を
聴く場

③提案について考える

提案の前段の相談手法のひとつとして、みんなでまちづくり会議を市民同士の意見交換や協力体制確保の機会として活用し、まちづくりへの市民参加を促進するとともに、提案をより具体性のあるものとなるよう市民同士で提案を考える場としても活用します。

市民への
相談の場

提案を議論
する場

市民同士
の連携

市民活動
の活発化

提案

協働事業

市民自治
の実現

と

パートナー
シップによる
まちづくり

提案できるまちづくり計画の要件

①対等の立場

パートナーシップによるまちづくりの7つの原則に基づくもの
(主体性・対等性・協調性・柔軟性・公開性・普遍性・発展性)

②共通して取り組む目的

市の基本構想及び各分野の基本的な計画に反しないもの

③役割分担

提案者と市の役割分担が設定されているもの
(双方の役割がゼロでないもの)

《草加市みんなでまちづくり会議 応募テーマ一覧（5件）》

テーマ① 「子どもと大人の人権を大切にするまちづくり」

内 容：すべての人の人権が大切にされ、心地よく暮らせる街になるよう、「当事者」の話を聞き、立場の異なる人に対する共感を持つことを目指して、「人権」の問題を考える機会（フォーラムなど）を開く。単発的なものではなく、繰り返し、機会を重ねていくこと。子どもと大人が共に学び、認識を深めていけるものであること。「草加市子どもと大人の人権条例」のようなものが出来たら嬉しいと思います。

テーマ② 「首都直下型地震時の老人世帯の避難補助体制の構築」

内 容：現在は、地区民生委員が老人世帯のうち要介護者を主体に名簿を管理していますが、とても民生委員一人で25から50人もの老人の避難を援助できません。具体的な法律も条例もありません。どうしますか？

テーマ③ 「人が健康で楽しさ溢れるエアの町 草加」

内 容：子どもも大人も老人も住んで楽しい美しい町をめざす。自転車ロードを作り、体を鍛え、排気ガスの少ない町をめざす。日本で魁エアの町にする。その横には、花を植え、楽しい美しさを入れる。資源や特徴のない町だからこそ、必要である。まず始めに、河川の道を整備し、草加の町を一周できるようにする。老人の楽しみも増え、介護を受ける人も少なくなり、介護医療費を抑える事になる。

テーマ④ 「地域コミュニティの再生ー安全・安心して暮らせるまちづくりー」

内 容：少子高齢化が喫緊の課題となっています。大所高所の政策・施策は国や県が取り組むべきと考えますが、市民レベルで取り組める課題もあるように思います。それが本会議の目標でもありましょう。そこで、身近な問題として高齢者問題の観点から「地域コミュニティの再生」について考えてみたいと思います。シャッター街商店や空き屋の増加、老人の孤独死など、地域の崩壊が言われています。キーワードを“安全安心して暮らせるまちづくり”として、地域コミュニティ再生のためにはどうすればよいか。退職高齢者の増加（団塊世代）と活躍の場も視野に入れ、議論できればというのが趣旨です。

（※裏面あり）

テーマ⑤ 「市民が安全にかつ快適に利用できる公共的施設づくり」

内 容：建築から40年以上経過している「草加市文化会館」「草加市中央公民館」「草加市体育館」等の公共的施設はかなり老朽化しており、耐震性等の安全性の問題、修繕費支出の増加問題、利用する市民の利便性等の観点から、近い将来取り壊しが必要となることが予想される。

現在はそれぞれ別の建物となっているが、これからは総合的複合施設として、多機能のコンプレックスビルとして生まれ変わることが、利用する市民の安全性、草加市の支出費用の合理性、利用者の快適性等の観点から望まれるところである。

どのような機能がその建物に与えられるかも含めて、まちづくり会議のメンバーが建築場所や費用について検討し、実現に向けて提言していきたいと思う。